

『学校力向上に関する総合実践事業』コーナー その4

今号は「外部アドバイザーによる指導」及び「放課後テーマ別研修」（主に教員の「学び」）の取組について紹介します。



本校では今年度も道内外の著名な実践家（アドバイザー）による指導・助言（年間3回）の充実を図っています。そして、本校教職員も〈目指す子ども像〉同様、常に「夢中になって学び合う」チームであり続けるよう努めているところです。



12日（木）に道立旭川美術館長（学校力向上総合実践アドバイザー）の菅沼 肇 氏が来校しました。最初に3つの学級（1・3・5年）の授業を参観いただき、児童の生き生きと学習に取り組んでいること、担任の授業に対する熱心さ、そして、児童と担任との信頼関係がしっかり築かれていることに対して、肯定的な感想をいただきました。その後、本事業の実効的な取組について講演をいただきました。『「生きる力」をはぐくむ学校力向上の取組を考える』と題した講演の中では、

◎学校改善を実現させるためのポイント…「理念（目標）」「システム」「情熱・意志」

について具体的に述べられた後、学級担任として身に付けてなければならない資質として

①常に学び続ける向上心 ②教育のプロとしての自覚 ③人格的資質

が必要であること。さらに、教室での「授業」「環境」「雰囲気」を大切にした〈学級経営〉こそが学校改善の土台であると述べられました。どのような取組の推進も、何はともあれ「担任が「目の前にいる子ども」をしっかりと理解していること、子どもが「学校が楽しい」と思っていること」が推進のための原動力になるという基本的なことを改めて認識することができました。

また、昨年度に引き続き本校で実施している「放課後テーマ別研修」では、本校及び連携校である江差小学校・江差北小学校の若手教員に向けた「学習指導」「生徒指導」「学級経営」等の研修を行っています。（今年度は全ての研修講師を本校の校長、教諭が担当）

第4回となった6月5日（木）のテーマ別研修（板書スキルアップ講座）では、本校の白川校長が実際の国語の授業の進め方を例に、黒板への書き方として

・どんなことを？ ・どんな順序で？ ・どの場所に？ ・チョークの色は？

といった黒板へ教師が書く際の基本的事項や配慮点について、模擬授業形式で書き進めながら若手教員へ具体的に説明をしました。

このテーマ別研修は好評で、参加者からは「とても有意義でした」「～について学ぶ機会があってよかったです」などの感想・意見を得ています。

今年度のテーマ別研修は〔全20回〕の予定で進めていますが、本校及び連携校の若手教員の「児童への指導力向上」そして、講師を担当する側の「教員への指導力向上」が実現されるよう努めてまいります。

《今年度・今後のテーマ別研修の例（抜粋して紹介）》



回	期 日	講 師	研 修 テ ー マ
7	8月28日(木)	永 井 朋 子	「楽しい算数の授業づくり」
10	10月 1日(水)	鈴 木 尚 子	「学級経営上の課題解決法」
12	11月 6日(木)	山 本 雅 樹	「誰でもできる書写指導」
14	12月 2日(火)	押 見 清 一	「ICT活用スキルアップ講座」